

第2次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

事業名	令和7年度市所蔵作品展「玉川旅館の記憶」				
担当課	文化課	担当者	益子・榊原	連絡先	2888

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム
最も該当する施策	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム
関連目標・施策	「アートでつながるまち ふなばし」プログラム

事業の概要

開催年度	平成13年度		
開催経緯	平成13（2001）年に「清川記念館収蔵展」を開催して以来、平成19（2007）年までに4回、平成21（2009）年に「船橋市所蔵作品展」と改めてからは毎年市所蔵美術品を紹介している。		
事業目的	市所蔵作品展については、市所蔵作品を展示、関連イベントを実施することで、市民が地域の美術作品、アートに触れ、「ふるさと船橋」へ親しみを抱く機会を創出する。		
定性目標	展覧会やその関連イベントを通じて、市民が地域のアートに親しみ、文化的な理解を深め、「ふるさと船橋」への愛着を抱く機会を創出することを目指す。		
定量目標	過去の展覧会の実績・会期・内容を踏まえて入場者数を設定し、それを超えることを目指す。		
対象	市民		
事業内容	・船橋市民ギャラリーを会場に市所蔵作品を展示 ・関連イベント（学芸員によるギャラリートークなど）の実施 等 【令和7年度市所蔵作品展「玉川旅館の記憶」】 会期：令和7年12月3日（水）～21日（日）19日間 会場：船橋市民ギャラリー 全館 入場無料 主催／協力：船橋市教育委員会・（公財）船橋市公園協会／学校法人船橋学園 東葉高等学校 展示品：建築部材（ネオンサイン、瓦、欄間ガラス、ランプなど）、美術作品（磯田長秋《富士図》など）、玉川旅館関連歴史資料（磯田長秋日記、船橋町鳥瞰図など）募集した写真、現代美術作家作品（荒井恵子、瓜生剛、ポップしなないで） 来場者数：2,530名（1日平均133人） アンケート回収：240枚（展覧会：127枚／イベント：113枚） 広報：広報ふなばし11月1日号、千葉日報12月4日号、産経新聞12月5日号、毎日新聞12月6日号、東京新聞12月8日号 〈関連イベント〉 ■玉川旅館ツアー（ギャラリートーク） 12月5日／12日／19日（金） ■文化フォーラム「地域の記憶を伝えること」 12月6日（土） ■座談会「玉川旅館の思い出」 12月7日（日） ■アーティストトーク 12月13日（土） ■リレートーク「玉川旅館～歴史と記憶～」 12月20日（土） □アートな茶会「ハレの日茶会」 12月14日（日） □とよすけ彩色ワークショップ 12月21日（日） □まちかど音楽ステージ 12月12日（金） 〈学校連携事業〉 ■5年生対象展覧会見学会 船橋小・湊町小・海神小・南本町小・市場小		
実施主体	市／（公財）船橋市公園協会	市との関わり	主催
情報発信	■ 広報ふなばし ■ Facebook	■ HP ■ X	■ チラシ ■ ポスター ■ その他（文化課Instagram）

第2次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

経年

年度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算)	令和8年度 (予算)
事業費＝決算額	4,467,994	3,319,535	1,836,800	5,977,567	6,387,070
市予算	1,438,900	2,030,215	588,800	4,731,311	5,084,120
補助金・協賛金等	2,962,094	1,289,320	1,248,000	1,246,256	1,302,950
その他（ ）	67,000				
人工（常勤職員）	1	2	2	2	2
人工（会計年度任用職員）	2	3	3	2	2
その他人工（R4,5文化スポーツ 公社→R6～公園協会）	4	4	4	4	4
定量目標値	入場者数1,500人	入場者数2,000人	入場者数1,500人	入場者数2,000人	入場者数2,000人
定量目標値の設定根拠		過去の所蔵作品展の 実績から（会期・内 容を踏まえて）	過去の所蔵作品展の 実績から（会期・内 容を踏まえて）	過去の所蔵作品展の 実績から（会期・内 容を踏まえて）	過去の所蔵作品展の 実績から（会期・内 容を踏まえて）
定量実績値	1,599人	2,602人	1,179人	2,530人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%					
事業内容 ※現年度は計画	令和4年度船橋市所 蔵作品展「磯田長秋 —船橋で時を描いた 日本画家—／笠木絵 津子「私の知らない 母」／船橋小学校創 立150周年記念アー ト体験プロジェクト わたしたちのまちの 過去図/未来図～“時 空写真”をつくろう ～」【会期】令和4 年12月7日～（水） 18日（日）12日間 ／【会場】船橋市民 ギャラリー 全館	令和5年度船橋市所 蔵作品展「フナバシ ストーリー 北井一 夫」【会期】令和5年12 月6日（水）～24日 （日）19日間【会 場】船橋市民ギャラ リー（全館）	「令和6年度 アレ も、コレも、船橋市 所蔵作品展 —ふなば しアートカードにな りました—」 【会期】令和6年12 月4日（水）～15日 （日）12日間【会 場】第1～3展示室、 第1ホール	令和7年度船橋市所 蔵作品展「玉川旅館 の記憶」 【会期】令和7年12 月3日（水）～21日 （日）19日間【会 場】船橋市民ギャラ リー（全館）	令和8年度船橋市所 蔵作品展「椿貞雄と 西洋（仮）」／「原 太一作品展」 【会期】令和8年12 月2日（水）～20日 （日）【会場】船橋 市民ギャラリー（全 館）
定性目標の実績について 経緯・変遷	会期や展示内容の違いにより、来場者数や来場者層に変化はあるが、毎回のアンケート結果からは、本事業がアートや船橋市の文化への理解につながっていることがうかがえる。 さらに、所蔵作品だけでなく、他のジャンルの作品・資料等を併せて展示するなど多角的なアプローチにより、市の文化を伝える試みを行っている。さらに市民ギャラリー近隣の小学校を対象にした見学会の実施、令和7年度は東葉高等学校の高校生等との連携を図るなど、子ども達、若い世代にも「ふるさと船橋」に親しみを抱く機会となるよう事業を企画している。				

自由記述 (これまでの欄で書き切れない 内容・特に推したい年度の事業 PR・補足説明等、自由に記入 する。)	●アンケート回収240枚（展覧会：127枚／イベント：113枚）※過去最多回収数【関連イベントの充実】 ●様々な分野の専門家呼び、トークイベントを実施 ●東葉高等学校の美術部生徒の作品等展示、ワークショップの開催 ●茶華道センターとの連携事業（アートな茶会）の実施、市立船橋高等学校茶道部の協力 ●文化課事業「まちかど音楽ステージ」との連携（出品作家・ポップしなないでによる演奏）
--	--

第2次船橋市文化振興基本方針 令和8年度個別事業評価シート

事業評価

評価対象年度	令和7年度
評価実施年度	令和8年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	アンケート結果において、展覧会の満足度が大変満足72%、満足が27%であり、自由記載欄でも、船橋市の文化への理解が深まったという意見が多く寄せられたため。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	目標値である来場者数2,000人を500人以上超えたため。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題				
	展覧会開催の周知が足りないことを実感している。また、市民ギャラリーを借りて市所蔵作品を開催するため、毎年年末の3週間に限られることから、さらなる来場者数の獲得が難しいと考える。				
	求めたい助言				
	美術振興事業の市民への広い認知のためには、どうすればよいか。また、展覧会が成功したとしても、その時の盛り上がりで終わってしまう。気運を継続させるためには、どうすればよいか。				

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	
---------------------------------	--

フォローアップ

今後の対応 (文化振興推進協議会委員によ る二次評価を受けての対応を記 入してください。)	
--	--

対応の結果 (今後照会予定です。無理に結 果を作り出す必要はありません。 結果が出た場合のみ記入し てください。)	
---	--